

5月は「家庭の月」

太宰府市国際交流員 金辛法

日本ではゴールデンウィークで賑わう5月ですが、お隣の韓国では1年で最も家族の絆を深める「家庭の月」として知られています。

韓国の5月が特別な理由は、家族にまつわる記念日が集中しているからです。まずは5月5日の「こどもの日」。ここまでは日本と同じですが、最も大切にされるのが5月8日の「両親の日」です。日本のように母の日と父の日を分けるのではなく、両親へ同時に感謝を伝えます。赤いカーネーションと共に、最近では実用的な現金を華やかにラッピングして贈る文化も韓国ならではの風景です。

さらに、5月21日は「夫婦の日」とされており、家庭の基盤である夫婦の絆を再確認する日となっています。この日は「二つ(2)の人生が合わさって一つ(1)の家庭を築く」という語呂合わせに由来しています。他にも5月15日の「先生の日」など、5月の韓国は身近な人々へ愛を伝えるイベントが目白押しです。

韓国社会において、5月は日々の忙しさの中で後回しにされがちな「家族への愛」を、形にして表現する大切な期間なのです。もしこの時期に韓国を訪れる機会があれば、街中に溢れる花々や、幸せそうに食事を楽しむ家族の姿から、韓国ならではの温かな「情」を感じてみてはいかがでしょうか。



花に紙幣をまいてラッピングした花束

季節の生け花

太宰府市華道連盟



うえの ともこ 池坊 上野 智子

花材：ギガンテウム、バラ、アレカヤシほか



太宰府短歌会

太宰府は桜が咲いて旨いから 陽子さんの店でコーヒー飲もう 福岡市/竹森 祐彦

悲惨なる戦に苦しむ人らをも 照らすか宙の十六夜の月 糟屋郡/仲道 朋子

珈琲に紅梅一輪添えられて 春をみつける余寒の中に 東ヶ丘/西木ミヤ子

春の宵の酒も喜ばぬまで古りて 目もと微かに笑まう立ち雛 大佐野台/宮崎 フミ

「さずかれし生命なればと百歳を 生きこし 娘の言葉の重し 湯の谷/山崎八重子

太宰府俳句会

持永 真理子 選

花の雨恵みの雨となりにけり 馬場/有岡 和砂

胸を張りお礼参りの春休 連歌屋/吉嗣のり子

飛梅句会

介弘 紀子 選

壺焼やまだ海鳴りの聞こへさう 高雄台/川路 泰子

壺焼の殻に残りし海の色 福岡市/工藤 友子

囁の止む一瞬のありにけり 朝倉市/古賀 紀子

幾重にも囁響く深き杜 大野城市/田代りえ子

名刹の鴟尾の高さに囁れり 長浦台/徳賀美智子

宝満句会

菅井 久美子 選

追憶やあのとときめきの花すみれ 観世音寺/野田 杉子

里なまり聞くバス停のすみれ草 筑紫野市/名本 剛

竹箒掃き残りあり重草 青葉台/平野 香

物の芽の老いを励ます強さかな 高雄台/荒島由美子

都久志てんじん句会

佐々木 甘露子 選

草の筋太きや母の蓬餅 青葉台/彦坂 正字

温む水登山靴裏洗うなり 筑紫野市/日永田忠孝子

亡母の手や草餅つつみ香を包み 高雄/福島久美子

陶工の土打つ音や春一番 福岡市/宮津英里子

草餅や三姉妹みな母となり 小都市/貞金 志帆

太宰府川柳倶楽部

小池 一恵 選

すねの傷若気の至り今もなお 坂本/森部 護

今日よりも明日を信じた良き昭和 松川/山根 清

領きの介護の耳は聞き上手 二日市/吉田 敬子

気をつけよお里が知れる迷い箸 五条/安枝 昭雄

幸運だった戦知らずに生きられた 通古賀/山本 征児